

疫学研究のお知らせ

研究課題名

早期肺癌に対して体幹部定位放射線治療(SBRT)を施行した患者のデータベースを用いた機械学習による患者予後予測の研究

研究の目的

近年、人工知能の発達により、患者さんのデータを用いてがんの予後を予測する研究が試みられています。早期肺癌においては、手術ができないまたは希望されない患者さんに対する治療として SBRT を行いますが、人工知能を用いることで患者さんにとってよりよい医療が提供できることが期待されています。本研究では、定位放射線治療を受けた患者さんにおいて、治療効果をはじめとする予後の予測を試みます。なお、本研究は大船中央病院 放射線治療科(神奈川県鎌倉市大船 6-2-24 <https://www.ofunachuohp.net/>)と共同で行われます。

研究の対象

京都大学医学部附属病院で2006年1月1日から2015年12月31日に、cT1-4N0M0の非小細胞肺癌と診断され、SBRTを行った患者さんが対象です。予定研究対象者数は約100名です。

研究の方法

該当症例につき、以下の情報をカルテより抽出し、大船中央病院に提供して解析を行います。

- ・ 性別、年齢、体重、身長
- ・ 肺がんの情報(病変の大きさなど)
- ・ 肺がんに対する治療の情報(手術の方法、放射線治療の方法など)
- ・ 肺がん治療後の経過についての情報(生存や病気の再発、検査結果の推移など)

本研究のために患者さんに新たな検査をお願いすることはありません。

なお、本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです。

研究期間

倫理審査承認日から2020年12月31日まで

研究成果発表

学会や学術誌等で報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

お願い

上記対象条件に該当する患者さんにつきましては、カルテ記載事項や画像など必要なデータを研究に利用させていただくことをご了承ください。

本研究の詳細を知りたい場合には、研究計画書および研究方法に関する資料を入手・閲覧が可

能ですので、下記までお問い合わせください。ただし、知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。他の研究対象者患者さんの個人情報に関してはお答えできません。
なお、本研究への診療情報の利用を望まれない場合も、下記までご連絡ください。

研究資金・利益相反について

本研究は、運営交付金を用いて行われます。また、利益相反はありません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理が行われます。

研究事務局

1) 研究責任者

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

松尾 幸憲

電話:075-751-3762、FAX:075-771-9749

2) 個人情報管理責任者 / 試料・情報の管理について責任を有する者

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

岸 徳子

電話:075-751-3762、FAX:075-771-9749

病院相談窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

電話:075-751-4748

電子メール:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp